

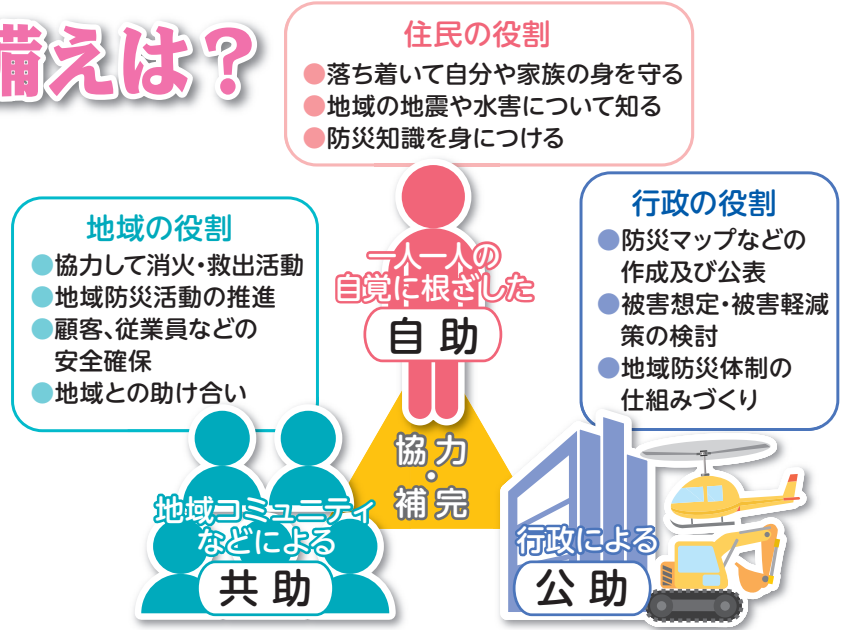


# 日ごろからの備えは？

## みんなで助け合う

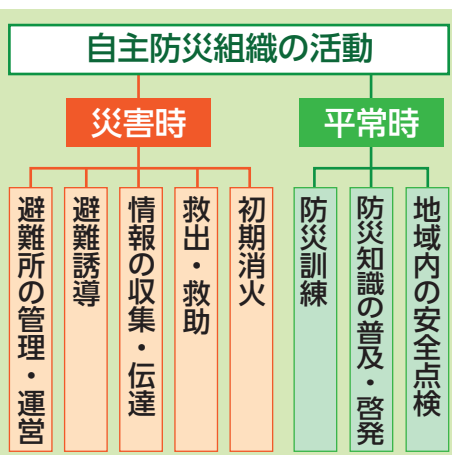
阪神淡路大震災や東日本大震災など、過去に起きた大きな災害の教訓から、住民の皆さんの生命を守る局面で最も大切なことは、住民の皆さん自身の力であると言われています。

災害による被害を少しでも軽減するために、行政が行う防災対策である「公助」とともに、自らの命は自らで守る「自助」、地域の安全は地域で守る「共助」を高めることが、防災・減災を実現するうえで、とても重要です。



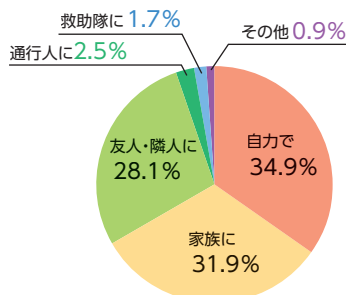
## 自主防災組織に参加しよう！ ～災害時にはとても大きな共助の力～

「自分たちの地域は自分たちで守る」という考えのもとに地域住民が防災活動に取り組む組織です。



自主防災組織では、災害時に備えた活動のほかにも、平常時から皆さんの暮らしに役立つ様々な活動を行っています。

### 阪神淡路大震災の救助割合



阪神淡路大震災では公的な救助により助かった人の割合は1.7%で、ほとんどの人は、家族や近所の人などに助けられているよ。

※兵庫県南部地震における火災に関する報告書（日本火災学会より）

## 自主防災組織などの底から

阪神淡路大震災では、家族やご近所によって生き埋めになった人が搜索され、生きて救出されたケースもありました。自主防災組織や自治会などを通じて、家族と地域が顔見知りになっておくことが、互いの命を救い、助け合うきっかけになります。

- 地域の自主防災組織や自治会に加入しておきましょう。
- 地域で協力して、救出道具や医薬品、食料などを準備しましょう。
- 地域で行う防災訓練などの行事に参加しましょう。



## 避難所は自分たちで運営

災害時には、避難所を自分たちで運営することが求められます。物資の配布や清掃活動などの様々な避難所での活動をみんなで助け合い、運営していきましょう。

- 女性や子どもをはじめ、みんなのプライバシーに配慮しましょう。
- スペースの配置は、要配慮者の移動距離などに配慮し、割り振りましょう。



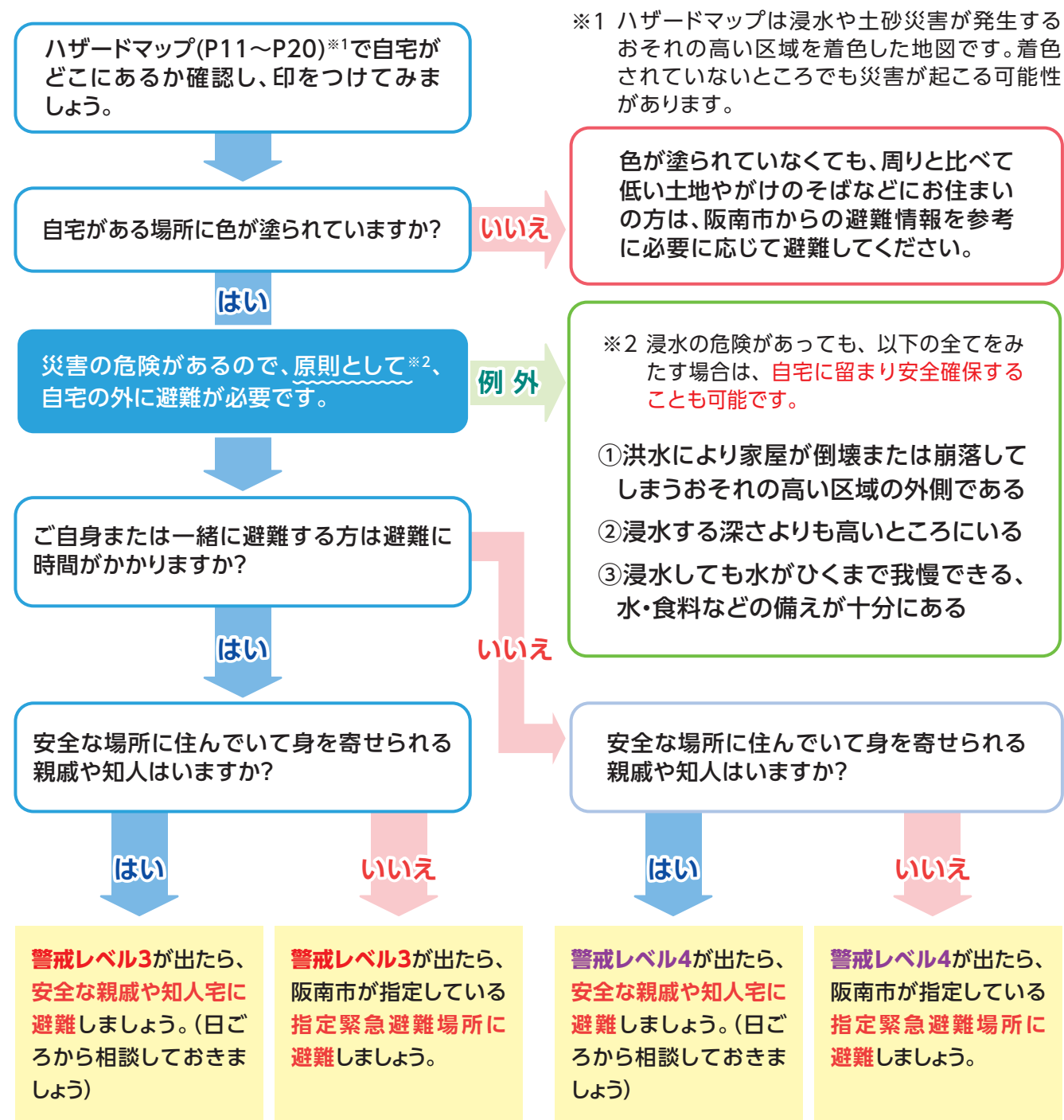
# あなたの避難行動判定フロー（風水害編）

注目!!



地震編はP25～P26をご覧ください

台風や大雨のような風水害はあらかじめ接近を予測できる災害です。避難行動判定フローに従い、「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自宅の災害リスクととるべき行動を確認しましょう。



あなたがとるべき行動を知ったら、マイ・タイムラインを作りましょう！

共通編

風水害編

地震災害編

日ごろからの備え

共通編

風水害編

地震災害編

日ごろからの備え